

流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

20250317

観測期間:2025年3月13日~14日

観測船:南星丸

観測海域:北部薩南海域

解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジャコ漁の漁期前・漁期中において、薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船南星丸を使って、北部薩南海域（鹿児島湾口部）の流れ藻観測を3月13日~3月14日に実施した。

観測期間中、黒潮はトカラ海峡を西北西から東南東に向かって流れ、屋久島の南東方沖で北北西に進路を転じていた。DR_Eでは黒潮フロントが見られ、鹿児島湾湾口部に暖水と冷水のフロントが確認された。

北部薩南海域において流れ藻観測を行ったところ、黒点部分において流れ藻が発見された。

13日の観測では湾口部の沖において多くの流れ藻を確認し、観測中には小規模な流れ藻集団を2つ確認した。14日の観測では湾口部にて少数の流れ藻を確認したものの集団は確認されず、確認された流れ藻についても小さいものが多かった。

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];
20250313 09:00 JST (ANL); Dep=1 m

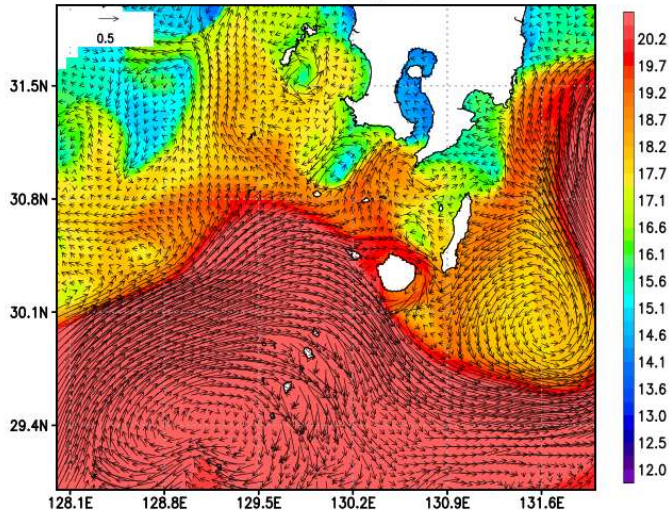


図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR_E)における流れ(矢印)および海表面水温(赤~紫)の3月13日の結果(ホームページより引用)。

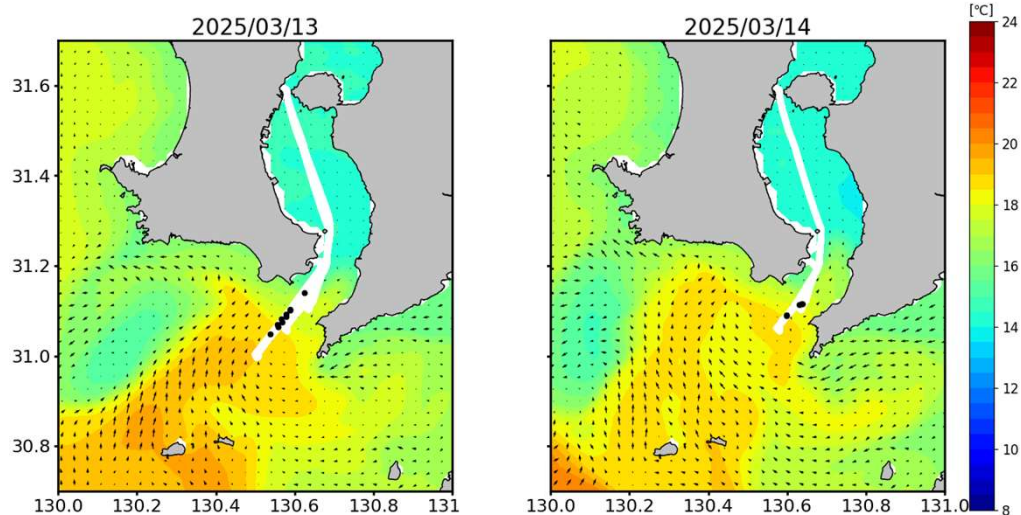


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果。黒点部分にて、流れ藻が発見された。

- 航路
- 流れ藻が発見された地点